

第 12 回「日本薬剤学会 製剤技師認定試験」実施のご案内

試験実施日：2021 年 10 月 16 日（土曜日）

本学会では、製剤に携わる方が、業務上必要とされる基礎知識および専門知識を修得し、近い将来、職場におけるリーダーとして活躍できる素養を認証するために「製剤技師」認定制度を立ち上げました。これまでに 11 回の認定試験を行い、すでに 260 名以上の「製剤技師」が誕生しています。

また、準備を早期に開始して頂くことを期待して、6 月末までに申し込みの方には、受験料を 1 万円減額致します。本試験に合格された方には、「製剤技師認定証」の授与に加え、非会員の方には 1 年間、年会費無料で会員と同じように年会・講習会への参加及び学会誌が読めるなどの特典が得られます。

現在、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の流行で、通常勤務に支障をきたしている方が多いと思いますが、こんな時こそ在宅でしっかりと実力を蓄えられては如何でしょうか。チャレンジを期待しています。

製剤技師認定委員長 岡本 浩一

受験資格：製剤関連業務に 5 年以上従事した方

医薬品・食品・化粧品などの企業、並びに病院、大学、その他の研究機関において、製剤関連業務に実際に 5 年以上（学生・大学院生の期間は含まない）従事した方、またはこれに相当する実務実績を有する方（所属長の証明書が必要）が受験可能です。（ホームページの「製剤技師認定制度について」をご覧ください。）

<https://www.apstj.jp/pharm-engineer/about/>

試験の形式と問題の構成／時間配分

	基礎編		応用編	試験時間	
	出題分野	問題数		必須	選択
基礎編	物理薬剤学	8	応用編	18 問 を 選 択	
	生物薬剤学	8			
	製剤学	8			
	レギュレーション	6			
	(製剤の基盤となる知識)				
問題数		30 問	30 問		
試験時間：75 分		試験時間：90 分			

*なお、配点は一問につき、基礎編は 2 点、応用編は 3 点で、実務実績を重視しています。

第 1～11 回の全問題と正解及び第 12 回目の試験出題項目、参考図書などはホームページの「製剤技師認定制度について」をご覧ください。

<https://www.apstj.jp/pharm-engineer/about/>

受験申込期間 = 早期受付の場合、受験料が「1 万円減額」になります。

早期受付*：2021 年 5 月 17 日（月）～ 6 月 30 日（水）

後期受付：2021 年 7 月 1 日（木）～ 10 月 4 日（月）

試験日・試験会場

試験日：2021 年 10 月 16 日（土）13:00～16:20

試験会場：東京会場・味覚糖 UHA 館 TKP 浜松町カンファレンスセンター

大阪会場・TKP 新大阪駅前カンファレンスセンター

受験料

会員：3 万円、非会員：4 万円。合格時の認定料は、会員・非会員とも 2 万円。

* 早期受付の場合「会員：2 万円、非会員：3 万円」となります。なお、申込後の受験料の返却は原則として行いませんが、コロナ禍により学会が試験を中止する場合は返却致します。